

開催案内

オンライン開催

第17回 全国児童館・児童クラブみやぎ大会

「つながる～こどもがまんなか～」

主催：宮城県児童館・放課後児童クラブ連絡協議会 全国児童厚生員研究協議会 一般財団法人児童健全育成推進財団

共催：宮城県 仙台市

主管：第17回全国児童館・児童クラブみやぎ大会実行委員会



子ども虐待防止オレンジリボン運動



児童厚生員の輪を広げよう

第17回全国児童館・児童クラブみやぎ大会開催要綱

1 開催趣旨

全国の児童館・児童クラブ職員が児童健全育成事業を推進するために、自主的な研究協議と交流の場を設け、自らの意識と資質の向上を図る。また、児童館・児童クラブの多様性やその意義、職員の専門性について、地域社会へ認知が広がることを希求し、その普及・啓発のために現任従事者の積極的な企画・運営への参画を得ることを重視する。子どもの大切な居場所となり、その豊かな育ちに寄り添う地域の子育て支援の拠点としての役割を、更に意識し高めていく。

2 みやぎ大会コンセプト

「東日本大震災から10年。そして、つながる未来へ。」

東日本大震災から10年の節目の年に被災地で開催をすることで、復興のあゆみを応援いただいた全国のみなさんへの感謝とともに、その事実を風化させず、あらためて災害についての意識を持って子どもたちの育ちや命そのものに寄り添う環境を考え、未来に繋いでいく役割を果たしていきたい。

3 開催テーマ「つながる」 サブテーマ「こどもがまんなか」

全国の児童館・児童クラブが「つながる」 経験が「つながる」
行政と児童館・児童クラブが「つながる」 学校・家庭・地域と「つながる」
教育と福祉が「つながる」 子ども同士が「つながる」
震災以前からのつながりを絶やさず未来へ「つながる」～

4 主催

宮城県児童館・放課後児童クラブ連絡協議会 全国児童厚生員研究協議会
一般財団法人児童健全育成推進財団

5 共催

宮城県 仙台市

6 後援

厚生労働省 全国児童館連絡協議会 社会福祉法人全国社会福祉協議会
児童厚生員養成課程連絡協議会 民間児童館ネットワーク 全国地域活動連絡協議会
宮城県内各市町村（予定）

7 主管

第17回全国児童館・児童クラブみやぎ大会実行委員会

8 開催日時

令和3年11月7日（日）10：00～16：30

9 開催方式

オンライン開催（ZOOMを用いたオンライン形式）

10 参加対象者

児童館・放課後児童クラブに関わるすべての方、福祉及び教育関係者、行政関係者、子ども・子育てに関心のある方どなたでも

11 日程・内容

《日程》

10:00 10:25 11:30 12:10 12:50 13:30 13:50 14:45 14:55 15:50 16:00 16:30

開会 (25)	シンポジウム (65)	基調講演① (40)	休憩 (40)	基調講演② (40)	休憩 (20)	分科会 (55)	休憩 (10)	分科会 (55)	休憩 (10)	閉会
						分科会(120)				

《内容》

時間	内容	
10:00 (25分)	開会 オープニング パフォーマンス 挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・学びのコミュニティ ～東中田復興プロジェクトかっこ和太鼓隊～ ・開会宣言 ・主催者挨拶 ・来賓挨拶 ・サンドウィッチマンからのメッセージ
10:25 (65分)	映像メッセージ シンポジウム	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の震災当時と現在の児童館の様子映像 「東日本大震災から10年 復興への道」 ・コーディネーター 東北学院大学 教授 水谷 修 氏 ・パネリスト 女川町教育委員会 教育指導員 石巻湊小学校 前校長 坂本 忠厚 氏 気仙沼市赤岩児童館 副館長 金田 みや子 氏 亘理町荒浜児童館 元館長 鈴木 由美子 氏
11:30 (40分)	基調講演①	<p>「復興支援から見てきたもの」 ～社会総ぐるみで子どもの育成を！～</p> <p>講師 宮城教育大学 学長特別補佐 特任教授 野澤 令照 氏</p>
12:10	休憩	乳幼児子育て支援室10館の活動紹介など配信
12:50 (40分)	基調講演②	<p>「脳科学から見た子どもに必要なこと」</p> <p>講師 東北大学加齢医学研究所 教授 瀧 靖之 氏</p>
13:30	休憩	
13:50	分科会	※分科会の時間と内容の詳細については、別紙を御覧ください。
15:50	休憩	
16:00	エンディング	
16:30	閉会	

1 2 参加定員 800名（予定）分科会によっては参加定員を設けております。

1 3 参加申込

参加を希望される方は別紙「大会への参加申込みについて」をご参照いただき
QRコード又は申込サイト URL <https://jidou-miyagi.jimdosite.com/> より
必要事項をご登録願います。

（申し込みについてはインターネット経由のみとなります）

申込開始日 : 令和3年 9月 1日（水）

申込締切日 : 令和3年10月15日（金）



大会 HP QRコード

1 4 個人情報の取り扱いについて

本大会の申込書に記載された個人情報は、本大会運営管理の目的のみ利用させていただきます。

1 5 参加費 お一人様 2,000円

1 6 その他

- ・本大会における録音・録画・スクリーンショット等は禁止といたします。また、これらを用いた引用、転用、配信、公開等を禁止といたします。御理解御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。
- ・本大会における記録として写真を撮影させていただく場合がございます。報告書作成以外の目的での使用はしませんので、御了承願います。
- ・お申し込み後の参加費の返金には応じかねます。あらかじめ御了承ください。
- ・大規模災害等で大会が中止になった場合は、報告書等での対応とさせていただきますので、御了承ください。

1 7 お問い合わせ先

① 大会内容等に関するお問い合わせ先

第17回全国児童館・児童クラブみやぎ大会実行委員会事務局

（宮城県児童館・放課後児童クラブ連絡協議会事務局）

TEL 022-384-8021

② 参加申込に関するお問い合わせ先

名鉄観光サービス株式会社

TEL 022-227-3611

Fax 022-261-4623

Mail: jidou-miyagi@mwt.co.jp

分科会一覧

<分科会について>

- ・分科会 1～4 をご希望の方は、前半を分科会 1 又は分科会 3 から 1 つ、後半を分科会 2 又は分科会 4 から 1 つ、前半後半合わせて 2 つの分科会を選んでご参加頂きます。それ以外の分科会と組み合わせることは出来ませんのでご了承願います。
- ・分科会 5～13 をご希望の方につきましては、お選び頂いた分科会 1 つのみの参加となります。
- ・定員のある分科会につきましては、先着順で定員となり次第申込受付を締め切らせて頂きますので、ご了承ください。
- ・定員のある分科会につきましては、必ず参加者 1 名に対し 1 台の情報端末（パソコン・スマートフォン・タブレット）にてご参加ください。

分科会名・タイトル・講師名・内容	
<p>13:50～14:45 (55 分)</p> <p>【分科会 1】 「震災から 10 年の今、未来に伝えたい防災・減災 ～子どもたちが自ら考えるために～」 講師：仙台市危機管理部 防災減災アドバイザー 折腹 久直 氏 宮城県角田市、白石市、仙台市の児童館から「震災から今」の防災・減災活動や震災の教訓を活かす児童館での取り組みなどを発表します。いつやってくるかわからない地震・津波・洪水・豪雨などの自然災害時に、「自分の命は自分で守ること」を子どもたちにそして未来へ伝えたいと思います。</p>	<p>14:55～15:50 (55 分)</p> <p>【分科会 2】 「社会教育と児童館・児童クラブ ～子どもの参画 意義・方法・ポイント～」 講師：東北学院大学 教養学部 教授 水谷 修 氏 子どもが地域を作り上げていく大切な一員だということを、地域の方々に認知してもらうために児童館が出来ることは何か？ 参加者の皆さんと共に「子どもの参画」の大切さ・楽しさ・面白さを学んでいきます。</p>
<p>【分科会 3】 「アソビノカタチ ～児童館×NPO との協働プロジェクト～」 発表者：NPO 法人東北の造形作家を支援する会 (SOAT) 理事長 藤原 久美子 氏 同 副事務局長 渡邊 廣一 氏 震災以降、被災した藤倉児童館や仙台市内 4 児童館で行ったアートを通じた心のケア支援活動「SOAT と児童館協働プロジェクト」の経緯を説明しながら、これからの子どもたちに必要な「遊びのカタチ」とは何か、サポートする大人の役割とは何かを考えていきます。</p>	<p>【分科会 4】 「児童館・児童クラブ×地域×家庭×学校 =∞の可能性！ ～コミュニティ・スクールと児童館～」 講師：仙台市立荒町小学校 校長 田邊 泰宏 氏 地域連携担当教諭 鈴木 美佐緒 氏 皆さんは「コミュニティ・スクール」はご存知ですか？ これからの学校は、学校や家庭だけではなく、豊かな地域資源との連携・協働によって支えていくようになります。ここではこれからの児童館の関わり方、在り方について一緒に考えていきます。</p>

13:50～15:50 (120分)

【分科会 5】

「児童館の今、未来！～最新の健全育成施策を踏まえて、これからの児童館の在り方を考える～」

講師：厚生労働省子ども家庭局子育て支援課健全育成推進室

コロナ禍は児童館の課題や可能性を改めて気づかせてくれました。厚生労働省担当者より最新の健全育成施策を学ぶとともに、子どもたち、地域のために健全育成活動を続けている児童館の取り組み事例を紐解きます。この時代に求められる児童館活動とは何か、そして、これからの在り方について考えていきます。

【分科会 6】

「子どもの発達 ～子どもたちの育ちと暮らしを支えるために～」

第1部 シンポジウム 他分野連携の中で見えてきたこと

学校、デイケアサービス事業所、児童館、相談機関

アドバイザー 東北大学大学院教育学研究科 教授 野口 和人 氏

宮城教育大学 教育学部 教授 植木田 潤 氏

第2部 トークセッション 仙台市児童館の巡回相談実施

野口 和人 氏、植木田 潤 氏

進行：仙台市発達相談支援センター 北部アーチル 所長 蔦森 武夫 氏

【分科会 7】 定員：20名

「市民協働による児童館」

【「つ」まるどころ「な」やむより「が」むしやらな「ル」ーキーへの原点回帰】

～繋がるルーツをすでに知っている皆さんへ、仙台から「あいうえお作文」をそっと送ります～

・行政（仙台市子供未来局）と仙台市内児童館連絡協議会代表によるトークセッション

・事例発表 協働の様々なかたち！「地域・学校・社会とつながる」

①東四郎丸児童館 ②立町マイスクール児童館 ③榴岡児童館

・ワークショップ 参加者が4グループに分かれて話し合います。

【分科会 8】 定員：30名

「中高生世代 voice～わたしたちが居たい場所～」

中高生世代の今抱えている気持ちや想いを、アンケートを通して宮城県内の中高生などから得た情報や、担当している職員が勤める児童館同士 ZOOM で繋ぎ、中高生の座談会を開催。分科会当日には録画した座談会を通して、参加者同士が中高生支援に向けて何ができるのかを考えます。

【分科会 9】 定員：30名

「つながり作りのススメ ～『まるごと児童館』の事例発表とみんなで情報交換会～」

・『まるごと児童館』事例発表

・ワールドカフェ方式の情報交換会

※「まるごと児童館」

仙台市内の児童館を指定管理している11団体（112館）が主催した児童館フェスティバル。

市民への児童館周知と職員同士の交流&スキルアップを目指しました。

【分科会 10】 定員：30名

「子どもとともにつくる児童館」

東日本大震災後、企画デザインの段階から子どもたちが参加して、建設された石巻市子どもセンターらいつの事例から「子どもにとって一番よい児童館とはなにか？」を子ども参加の視点を大切に参加者みんなで考えます。グループワークを通して、参加者それぞれが自分の現場に持ち帰ることができる学びの場をつくりま

【分科会 11】 定員：30名

「震災から10年 今だから話せるあんなことこんなこと

～あの時児童館から見たもの、そしてこれから出来ること～

- ・震災を経験した職員と子どもたちとのクロストーク
- ・グループに分かれて、クロストークから感じたことや、各現場を振り返ったときの課題などを共有し合います。
- ・災害を経験している児童館の方から未来へ向けたメッセージ

【分科会 12】 定員：40名

「あそびプロジェクトX ～あそびの力は無限大」

わくわく♪どきどき♪遊びの力は無限大。しかし、コロナの影響もあり、子どもたちが従来のように遊ばない、様々な変化が起きています。子どもの育ちに不可欠な遊び。遊びの価値を知り、保障する児童館・児童クラブの仲間たちとともに、“遊び”の意義を再確認し、全国の仲間と社会発信できる遊びをクリエイトしよう！

【分科会 13】 定員：40名

「児童館を考える 50のはなし～それぞれのストーリー～」

この分科会には、“答え”も“結論”も用意されていません。みなさん自身、そして児童館・児童クラブの中にある、それぞれのさりげないエピソードがテーマです。毎日のちょっとしたうれしいこと、悩んだり迷ったりしていること、イラっとすること、何気ないできごとの一つひとつを、ゆっくり語り合ってみませんか。

“わたし”の日常の中に、仲間たちが共感したり勇気づけられたり…語り合う先に見えてくるものが答えかもしれません。

第17回全国児童館・児童クラブみやぎ大会 参加申込について

「第17回全国児童館・児童クラブみやぎ大会」が開催されますことを心よりお喜び申し上げます。
大会へのご参加のお申込につきましては、名鉄観光サービス株式会社仙台支店にて担当させていただきます。
つきましては下記の通りご案内申し上げますので、多数のお申込をいただきますようお願い申し上げます。

名鉄観光サービス(株)仙台支店 支店長 後藤敏幸

1. お申込方法

〈受付開始日時〉 **令和3年 9月 1日(水) 12:00受付開始**

〈申込期限〉 **令和3年10月15日(金) 17:00** ※期限厳守でお願いします。

下記専用 URL より Web にてお申込ください。電話・FAX でのお申込は受け付けておりません。

〈Web 申込専用 URL〉 <http://www.mwt-mice.com/events/jidoumiyagi2021>

参加登録が完了されると、ご登録のメールアドレスに申込完了メールが自動送信されます。

※ @mwt.co.jp からのメールが受信できるよう、予め設定をお願いいたします。



2. 大会参加費 : お一人様 2,000 円【11/7 (日) オンライン開催】

※参加費は事務局様の依頼により名鉄観光サービス(株)仙台支店が事務の代行を致します。

参加費につきましては、旅行契約に該当致しません。

※参加申込後のお取消や大会中止等、いかなる場合においても、ご入金頂きました大会参加費の返金は致しかねますのでご了承ください。

※分科会によっては参加定員を設けております。先着順となりますのでご注意ください。

3. 代金のお支払い

銀行振込・クレジット決済よりご選択頂けますので、Web 画面上の手續に従い期限までにお支払いください。

※銀行振込の場合の振込手数料は、恐れ入りますが参加者負担にてお願い致します。

〈支払期限〉 **令和3年10月20日(水)** ※期限厳守でお願いします。

お支払が完了されました皆様には、大会1週間前を目途に当日の視聴用 URL をお送り致します。

4. 参加内容の変更・取消

上記申込期限までは、マイページよりお客様ご自身での変更操作が可能です。

期限を過ぎた場合、弊社宛メールにてご連絡をお願い致します。

5. 個人情報の取扱い

名鉄観光サービス(株)は、お申込みの際にご提出いただいた個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。また、大会主催事務局に提供致します。上記以外の目的でご本人の了承なく個人情報を第三者に開示することはありません。

その他詳細は当社ホームページでご確認いただけます。(名鉄観光ホームページ (<http://www.mwt.co.jp>))

6. お申込み・お問い合わせ先

観光庁長官登録旅行業第55号・日本旅行業協会正会員

名鉄観光サービス株式会社 仙台支店

総合旅行業務取扱管理者 福田 晃也

〒980-0021 仙台市青葉区中央4-10-3 仙台キャピタルタワー6階

Mail: jidou-miyagi@mwt.co.jp

TEL 022-227-3611 FAX 022-261-4623

営業時間: 平日 9:30 ~ 17:00 (土・日・祝日は休業です)

担当: 志賀・植松

※作成基準日: こちらのご案内は2021年7月1日を基準として作成しております。



(東北 2021-23454)



第17回 全国児童館・児童クラブみやぎ大会
「つながる～こどもがまんなか～」